

平成30年度地方創生交付金関係事業の検証・評価結果

No	交付対象事業の名称	交付金の種類	交付金実績額	本事業におけるKPI(重要業績評価指標)				外部有識者からの評価		次年度以降の取組等	
				指標	事業開始前	実績値	平成30年度KPI	事業の評価	外部有識者からの意見		
1	ASEAN人材育成拠点構築事業	地方創生推進交付金	1,600,000円	指標①	ASEANからの留学生増加による経済波及効果	1,887,888千円	62,160千円	248,640千円	基本目標を達成するために、非常に効果的であった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIについては、別府市が頑張っても達成できるとは限らない指標だから別府市に限定した評価は難しい。</li> <li>・ASEANからの留学生が市内の3大学に就学しているが、別府市はもつとASEAN諸国へ別府市の魅力をPRしてほしい。</li> <li>・同窓会などはうまくいっているが、まだ弱いところがあるので今後に期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大分ASEAN交流促進事業</li> <li>ASEANとの交流の現状と課題、大分県の取組等について意見を発表</li> <li>事業主体:おおいASEAN交流促進協議会</li> <li>○留学生ネットワーク構築事業</li> <li>市民・学生大同窓会事業に関わることで留学生等と市民等のネットワークを構築する。</li> </ul>
				指標②	留学生県内就職者の単年度増加数	-	-	40人			
				指標③	留学生県内起業者の単年度増加数	-	-	10人			
2	「モノ」から「コト」への旅ーイノベーションの「K点」越えをめざす4「B」深化計画	地方創生推進交付金	14,498,799円	指標①	新たな商品・サービス(モノ・コト)支援による商品・サービスの販売額	0千円	94,544千円	100,000千円	基本目標を達成するために、非常に効果的であった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIについては売上数値も非常に良く、予想を超えた達成度合いを高く評価できる。</li> </ul>	本年度(令和元年度)が事業最終年度であるが、現在、次年度以降の事業展開等について検討中
				指標②	新たな商品・サービス(モノ・コト)支援による商品化数(サービス含む)	0件	24件	15件			
				指標③	人材育成や交流促進事業における勉強会やイベントへの参加者数(起業希望者、市内外企業、学生等)	0人	458人	200人			
				指標④	人材育成事業における新たな人材育成数(起業希望者、市内外企業、学生等)	0人	92人	20人			
3	ICT等を活用した観光産業の生産性向上	地方創生推進交付金	9,099,000円	指標①	観光客一人当たりの消費額	11,950円	-557.24円	165円	基本目標を達成するために、相当程度効果があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIについては観光データとなっているが、外国人観光客が非常に流動的なのでデータの分析には注意が必要である。</li> <li>・KPIについては消費額も全国的に下がってきているので致し方ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルサイネージの管理・運営</li> </ul>
				指標②	観光客数	8,223,200人	236,217人	58,200人			
				指標③	労働生産性(付加価値額/従業員数(飲食・サービス業))	1,216,126円	-	17,217円			
4	別府は地球の中心・FITはBEPPUをめざすー外国人観光客への「OMOTENASHI」力向上とアクティブシニアの活躍の「場」創出事業	地方創生推進交付金	6,246,896円	指標①	観光客数(外国人観光客)	352,900人	568,954人	80,600人	基本目標を達成するために、相当程度効果があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客の流れについては比較的うまくいっている。</li> <li>・外国人観光客の消費額については、所得の低い人でも来やすい環境になってきているので下がっても致し方ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客案内所(別府インターナショナルプラザによる別府駅案内所・鉄輪案内所)の運営</li> <li>・24時間外国人観光客コールセンターの運営</li> <li>・外国人観光客宿泊者数調査及び検証</li> <li>・体験型アクティビティ事業販売</li> </ul>
				指標②	観光客一人当たりの消費額(外国人宿泊客)	21,174.00円	3,360.71円	21,852円			
				指標③	社会増減	-169人	-782	-124			
5	別府人よ！竹産業に燦爛たる光を浴びせよー竹産業イノベーション創出事業	地方創生推進交付金	5,944,148円	指標①	竹細工製作者市内在住者の増加数累計	3人	2人	9人	基本目標を達成するために、相当程度効果があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹を使った商品を開発するのも一つの手段だが、竹を使ったもので体験するなどの「コト」サービスを提供することも積極的に検討して良いのではないか。</li> <li>・切り子さんについて、1人から2人に増えたがそれでも足りないのではないかと心配している。</li> <li>・別府の竹のブランドは必ずどこかで花開くはずなので戦略を作って進めてほしい。</li> </ul>	「竹産業・ものづくりイノベーション協議会」で策定した「別府竹産業の総合計画書」を基に、別府市の竹産業の課題解決、更なるイノベーションに向けた取組みを行っていく。 令和1年度には、ラグビーワールドカップ2019日本大会の大分開催に伴い、キャンプ地の至近距離にある「別府市竹細工伝統産業会館」で来日するファンに向けたおもてなし事業を行う。(竹細工製ラグビーボール型モニュメントの展示、カフェコーナーの拡充)また、平成30年度に行った「別府市役所NY支店」に続き、ヨーロッパをターゲットとした販路拡大事業に取り組む。
				指標②	竹細工訓練センター入校者の内移住者数	6人	8人	7人			
				指標③	竹細工従業者数	-	12人	12人			
6	翔べ！起業・創業の旋律を奏でる別府版「稼ぐ力」増強計画	地方創生推進交付金	13,231,109円	指標①	消費額(国内観光客)	93,070百万円	-8,855.51百万円	1,741百万円	基本目標を達成するために、非常に効果的であった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人材の確保と労働力不足において、企業と就業者のマッチングがされていない部分もまだあると思うので、次年度以降もぜひ力を入れてやっていただきたい。</li> <li>・創業支援も大事であるが、事業承継の課題解決も必要だと思う。</li> <li>・KPIの指標そのものが事業に対してミスマッチが生じていると思う。</li> <li>・新たな取組を付け加えることはできないと思うが、あと10年は人材不足が続き外国人労働者が増えると思うので、その点も含めて検討していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①別府市が進める「ツーリズムバレー構想」の支援</li> <li>②起業検討層のフォローアップ</li> <li>③事業承継の支援</li> <li>④販路開拓支援</li> <li>⑤人手不足(特にホテル・旅館)改善支援</li> <li>⑥コワーキングスペースを活用して都市部の企業と学生らとのマッチング</li> <li>⑦ラグビーWC期間中の別府市でのファンゾーンの運営</li> <li>⑧海外での商談会実施</li> <li>⑨観光情報サイト「極楽地獄別府」の管理運営</li> </ul>
				指標②	消費額(外国人観光客)	5,668百万円	6,208.91百万円	908.5百万円			
				指標③	B-biz LINKの支援による起業件数	0件	7件	3件			
				指標④	個人市民税所得割の納税義務者数	47,145人	267人	20人			
7	おんせん県おおいの地域DMOを核とした観光振興事業	地方創生推進交付金	0円	指標①	県内延べ宿泊者数	6,582千人	7,830千人	50千人	基本目標を達成するために、相当程度効果があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉地サミットについては先進的な協議がなされて非常に良かった。</li> <li>・非常に多くの市民も参加しているし、イベント自体は評価できる。</li> <li>・イベントの開催がすぐに宿泊者数や消費額に結びつくものではないので、KPIについては今後再考する必要があるのではないか。</li> </ul>	世界温泉地サミットで協議された温泉の健康と美容への活用、環境に関する諸問題などを別府市として今後も「別府ONSENアカデミア」などで研究を行っていく。
				指標②	県内観光入込客数	19,721千人	-	727千人			
				指標③	県内観光消費額	2,051億円	-	30億円			